

(様式第4号)

協働推進モデル事業計画書

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	特定非営利活動法人 マザーリーフ
	合同提案団体	
提案事業の名称	大丈夫！三世代で見守る安心子育てサポーター養成講座	
提案事業の目的	子育ての究極の目的は「自立」である。それまでに子育てに関わる大人たちはどのような態度で子どもたちに接していくのか。多様な個性の子どもたちがいる中で、インターネットや人の言葉に流され悩む孤立した大人たちに、いろいろな角度から物事をとらえる力を養い、心の安定、安心につなげることで子どもたちの言動を大きく受けとめ対応し、親も子も自立へと導くことを目的とする。	
課題の緊急性・重要性 (市民ニーズ含む)	<ol style="list-style-type: none">1. 解決する課題 情報に振り回され、目先のことにとらわれ、子育てにおいてパニック障害、常にまわりの子どもと比較するクセに陥りがちな孤立した大人たちの心の調和、安定を図る。2. 市民ニーズ 親の一方的な見方で、子どもの言動にパニックになり、心を病んでしまった親子の相談が後を絶たない現状がある。そのような状態になる前の予防が大変重要だということを感じている。より身近に心に添えるサポーター・相談員が必要とされている。3. 課題解決の方策 自分にとって何が本当に大切なのか、これからどうなりたいのか、周りの人の言葉や情報をうのみにするのではなく、自分自身をそして子どもたちを冷静に暖かく見つめることができるかどうかで、生き方も変わってくる。	
協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を含む)	<ol style="list-style-type: none">1. 協働の必要性和相乗効果 市の協働事業という安定した後押しを受けて、講座を受講して傾聴力を持つ者の実践の場を提供して頂き、地域で活動できる人材育成につなげることで期待できる。2. 提案団体が果たす役割 調和のとれた大人たちを養成することで、将来的に地域で活動できる子育てリーダー(相談員)の育成につなげることができる。3. 岡山市の担当セクションと市が果たす役割 継続して活動することが望ましく、各地域の人材育成に大きく関わる必要がある。4. 期待する事業成果・目標値等 受講後、地域ごとにボランティア活動実践をする中で、自分自身が経験を踏んで自信をつけることにより、3年後から人を活かし育てる側になれることを目標とする。	

<p>事業の内容</p>	<p>1. 講座・実践カリキュラム期間 平成26年9月～平成27年1月 2. 場所 岡山市にある3カ所のふれあいセンターときらめきプラザ (岡山・岡山南・きらめきプラザ11月・きらめきプラザ12月・西大寺) 3. 講座内容 <講座カリキュラム> ① 絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター を取り入れた4回シリーズの講座(1回2時間) (週1回) <実践カリキュラム> 各地域講座修了者から、託児ボランティア・傾聴ボランティア等の活動実践をとおし、 傾聴力・実践力を身につける 4. 対象者 子育てに興味のある方 5. 受講者人数 各講座20名 ※無料託児付き 講座受講後の展開 各講座から、さらにレベルアップを望み、地域で子育て支援相談員として活動したい希望者 には、マザーリーフでのフォローアップ講座の受講や、スタッフがマンツーマンで相談にの りながら、気持ちに添う傾聴力を伝え、自立と安定を備えた相談員養成に努める。 (※別紙1参照) (※別紙2参照・・・添うということの実践例)</p>												
<p>事業の実施体制</p>	<p>1. 総括責任者 理事長 藤 恵子 2. 個別事業責任者 絵本心理認定講師 回想傾聴相談員 木下 由加 3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ 講師には認定心理士、産業カウンセラー、保育士が担当、また絵本心理認定講師、 コラージュ心理認定講師、箱庭心理認定講師など、実際に講座を持ち、活動している 講師が担当する。</p>												
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年 9月</td> <td>岡山ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>岡山南ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>きらめきプラザにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>きらめきプラザにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター</td> </tr> <tr> <td>平成27年 1月</td> <td>西大寺ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ① 本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター</td> </tr> </tbody> </table>	月	実施事業内容	平成26年 9月	岡山ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター	10月	岡山南ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター	11月	きらめきプラザにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター	12月	きらめきプラザにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター	平成27年 1月	西大寺ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ① 本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター
月	実施事業内容												
平成26年 9月	岡山ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター												
10月	岡山南ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター												
11月	きらめきプラザにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター												
12月	きらめきプラザにて 4回シリーズ講座 ①絵本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター												
平成27年 1月	西大寺ふれあいセンターにて 4回シリーズ講座 ① 本心理 ②アートセラピー ③音楽コラージュ ④グループエンカウンター												
<p>実施する上で連携が 必要と思われる団体 と期待される役割</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割										
名称	期待される役割												
<p>事業の展望及び 今後の活動展開</p>	<p><input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>----- 具体的な目標(計画)があれば記載してください。 講座終了後もマザーリーフで継続的に講座を開催したり、スタッフがフォローにつくなど、常に対応できる 体制を整え、一人一人を活かし、自立できる人材育成、相談員養成に取り組む。 (別紙1参照)</p>												

(様式第5号)

協働事業収支予算書

提案事業名	大丈夫！三世代で見守る安心子育てサポーター養成講座
-------	---------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	50,000	
	合同提案団 体負担金等		
自己資金等合計(a)		50,000	
事業収入見込		50,000	参加費500円×20名×5会場
事業収入見込合計(b)		50,000	
岡山市補助金申請額(c)		400,000	
収入合計(c) = (a) + (b) + (c)		500,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	・人件費	200,000	@2,500円×2時間×2名×20講座
	・消耗品費	40,000	画用紙・のり・はさみ・制作物材料等 ×100名分
	・託児委託料	120,000	@1,000円×2時間×3名×20回
	・託児保険料	12,000	@600円×20回分
	・会場使用料	58,000	20会場(託児用室含む)
	・備品費	20,000	講座使用絵本購入代10冊
	・印刷費	30,000	チラシ1000枚
・通信費	20,000	案内状・レジメ等×100名分 講座案内・受講受付ハガキ等郵送費	
事業実施経費合計(d)		500,000	
管理運営経費			
管理運営費合計(e)			
総事業費(f) = (d) + (e)		500,000	※収入合計(c)と同額

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること

2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること